

# たから イーデイスの宝

裕福な貴族のレディー・コンスタンス・セルフオードは、他の人たちの助けになるようなことはほとんど何もしていませんでした。その一方、メイドのイーデイス・ギブオールは、いつも他の人々を助けることに熱心で、自分のわずかな収入の中から、できる時にはいつでも宣教活動のための寄付もしていました。





しんぶん しやうめんげんかん  
新聞を 正面玄関まで  
届けるなら チップを  
差し上げると お約束  
されたそうですね。

ああ、あの  
なまけ者の 少年ね。  
それで・・・？

ふん、もし あなたが  
あの子に チップを  
あげたいなら、それは  
それで 構わないわ。

お、奥様の  
代わりに、チップを  
渡しておきました。

まったく、いつも  
むさ苦しくて、髪の毛も  
ボサボサだわ。

ところで、イーデイス。  
今日は、お客様が 見えることに  
なったの。カーテンを 洗って  
ちょうだい。

コックの 手伝いも  
お願いね。

でも 奥様、今日は  
ひと 人と 会う 約束が・・・

そうだったわね、イーデイス。  
だけど、お客様が 7時に  
見えるのよ。

わかりました、  
奥様。

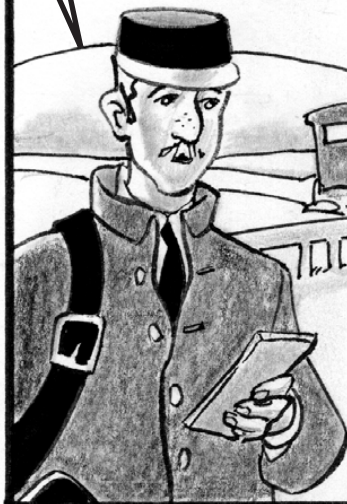


ピンポン!



イーディス  
さま  
ギブオール様へ、  
とど もの  
お届け物です。

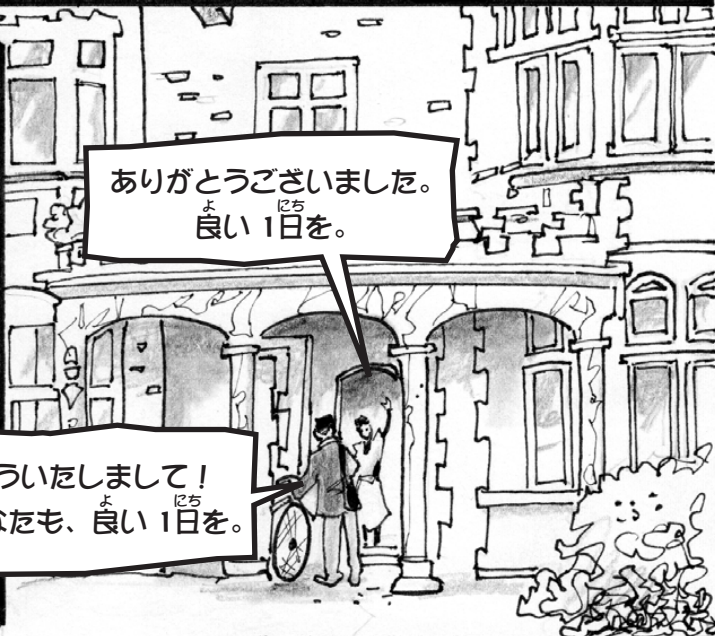
わたしですが。



では、ここに署名を  
ねが  
お願いします。

ありがとうございました。  
よい 1日を。

どういたしまして!  
あなたも、よい 1日を。



親愛なる イーディスへ、  
わたしが 病気の 時には、  
買い物 を したり、子供たちを  
見てくださって、本当に

ありがとうございました。

心ばかりの お礼を 送ります。

敬具、フェリシティ・

チャドウィック

まあ、何てやさしいのがしら!  
この お金の 一部を、ロンドンに  
できた 新しい 児童養護施設に  
送りましょう……









その夜、レディー・セルフオードは夢を見ました。レディー・セルフオードもイーティスも死んで、天国にいる夢でした。

こちらです、  
コンスタンスさん。

なんてステキなお屋敷でしょう。  
まるで宮殿だわ。だれの  
お屋敷ですか？

あなたの  
メイドだった、  
イーティス・  
ギブオールさんのです。

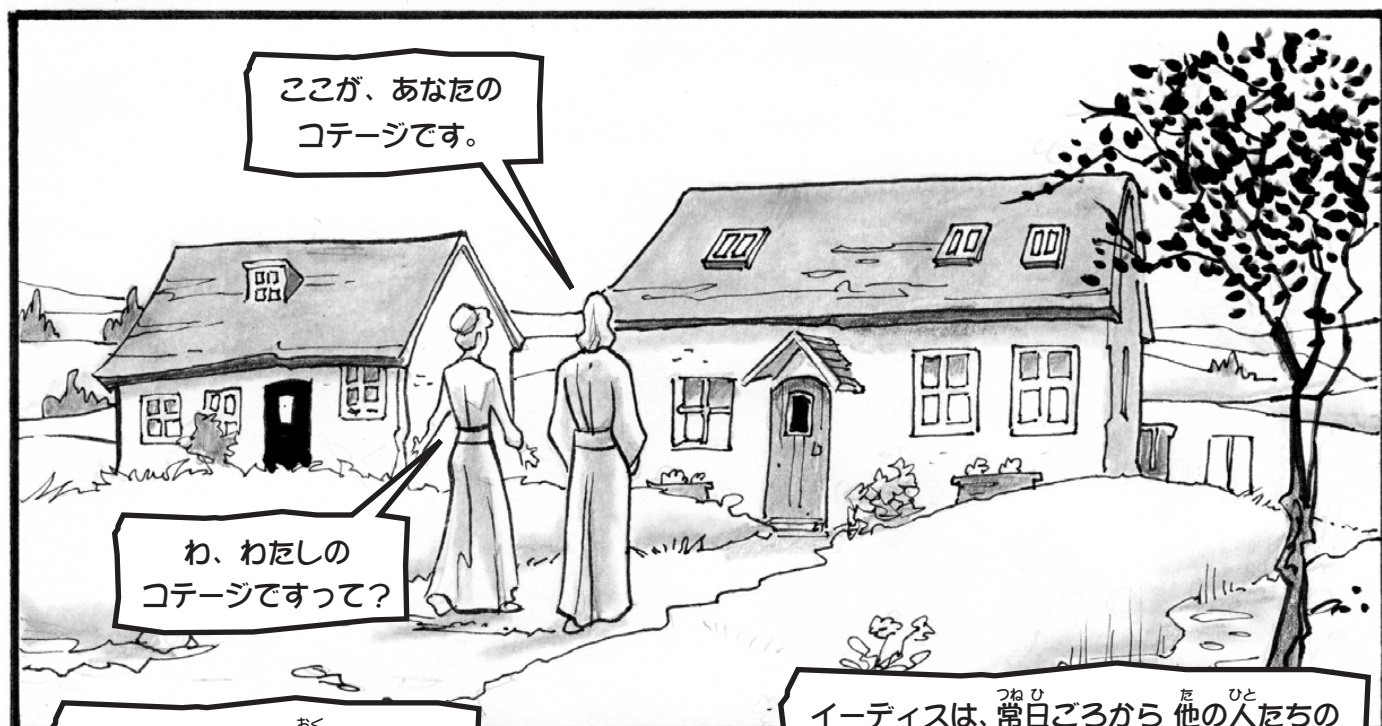
まあ、  
イーティスが あんなに  
ステキな お屋敷を いただけ  
るなら、わたしは もっと  
すごい 所を いただけるに  
ちがいないわ！

さあ・・・  
あなたの お宅に  
ご案内しますよ。

ふーん・・・こちらの  
お家は、質素ですわね。  
道が ちがうんじゃ  
ないかしら？

もう、すぐ  
そこですよ。





イーディスは、<sup>つねひ</sup>常日ごろから <sup>た</sup>他の人たちの  
ために <sup>いの</sup>祈り、<sup>せんきようかつどう</sup>宣教活動や チャリティーの  
ために、<sup>かき</sup>できる限りのことをして  
<sup>たす</sup>助けてきました。

・・・<sup>きょう</sup>今日わたしの  
<sup>たす</sup>助けを <sup>ひつよう</sup>必要としている  
<sup>ひと</sup>人は、だれでしょうか・・・







天国<sup>てんごく</sup>に行って <sup>かみさま</sup>神様から <sup>ほうしゅう</sup>報酬を <sup>とき</sup>いただく <sup>ちじょう</sup>時、地上での <sup>おこな</sup>行いを通して <sup>ほんとう</sup>本当に <sup>てんごく</sup>天国に <sup>たから</sup>宝を <sup>たくわ</sup>貯えていたのは  
だれかが <sup>わ</sup>分かって、わたしたちはびっくりするかもしれません。

「<sup>すこ</sup>少しが <sup>もの</sup>まかない <sup>すこ</sup>者は、<sup>すこ</sup>少しが <sup>が</sup>刈り <sup>と</sup>取らず、<sup>ゆた</sup>豊かに <sup>もの</sup>まく <sup>ゆた</sup>者は、<sup>が</sup>豊かに <sup>と</sup>刈り <sup>と</sup>取ることになる。」  
(口語訳聖書、コリント人への <sup>だいに</sup>第二の手紙 <sup>てがみ</sup>9:6)